

# コミルネ互版

## 謹賀新年

明けましておめでとございます

昨年は東日本大震災など大きな災害が次々にあつた年でした。こうした災害を通して、「人と人との絆」の大切さを改めて感じ、それぞれの地域が食料、エネルギーで自立できる「くらし方」を考えはじめた一年でもあつたように思います。

「コミュニティルネッサンス研究所」のめざしているものも、地域社会の中で「支え合うくらし方」を考え、「人と人との絆」を作れる場でありたいというものです。

この会の目標が少しでも実現するよう、今年も一歩一歩あゆんでいきたいと考えています。今年もどうかよろしくお願いいたします。

そば打ち道場 盛会でした  
ちよとクリスマスの日に「そば打ち道場」を開きました。午前中8名、午後7名の参加がありました。今年は午前の部、午後の部ともに打ち経験のある方の参加もありました。

## 年越蕎麦

参加者もちよとずつ「こねたり」「伸ばしたり」「切ったり」してそれをながめる人も。地域の絆の利用者さんもお二人来て下さいました。そば打ちを見ながら、子どもの頃にそば打ちをながめていたときの思い出話をして下さいました。

今年には神石高原町で栽培されたそば粉でも、師匠の平田さん「打ってみましょうか」と言うことになりました。平田さんが取り寄せて下さった信州のそばとは、色が黒いなど微妙な違いがありました。

## これからの行事

- (1) 「野菜を食べたら何故良いの？」  
と き：1月14日(土) 10:00~12:00  
ところ：NPO事務所  
講 師：加納三千子(当会会員)  
参加費：500円

野菜をしっかり食べることで便秘の解消や目覚めの良さなど体調変化の例を挙げながら、何故体調が良くなるのかを考えます。

- (2) 「歌は世につれ 世は歌につれ」  
と き：2月18日(土) 13:30~  
ところ：NPO事務所  
講 師：津川淳

(福山市立女子短期大学名誉教授)

参加費：500円

少年雑誌の表紙の絵を見ながら、その時代の背景を考えます。そしてその時代の「うた」を歌いながらその歌詞の持つ意味を考えてみます。

できあがったそばの切れ端をまず油で揚げて口に入れ、「おいしいね!」。  
切ったそばはゆでて、今年は「通りの食べ方をしました。一つはおろした辛味大根を薬味にして食べる食べ方。もう一つは佐々木さん栽培の「山芋」を使つたところそば。  
切った人によってそばの太さも違い、口当たりやのどごしに違いがありました。  
こうしたことやしゃべりながら、差し入れのお寿司、果物、ケーキなどをほおばりながら楽しいひとときを過ごしました。  
一日そば打ちの指導をして下さった平田さん、ご苦労様でした。

Community Renaissance Research Center



会報 第7号(2012.1.1)  
広島県福山市木之庄町4-3-14  
tel & fax:084-917-5937  
e-mail info@comirune.com  
ホームページは只今更新準備中です